

中期経営計画（平成29年度～平成31年度）

（公財）埼玉県公園緑地協会

1 経営方針

- (1) 魅力ある公園づくりと利用者の拡大
特徴を生かした公園づくりの推進と利用者ニーズに応じたサービスの提供
- (2) 県民、地域への寄与と連携・協働の推進
県出資法人として県民の期待に応える公益的使命の追求
- (3) 経営体質の強化と組織の活性化
自主的経営基盤の充実と効率的な組織運営

2 経営目標・経営指標

(1) 経営目標

ア 利用者満足度の向上と多彩な公益目的事業の展開

- 「感動」を与えるサービスの提供
- 利用者ニーズを反映した事業の展開
- 花と緑のある公園づくりの推進
- 青少年の健全育成等を目的とした教育関連事業やスポーツ普及・啓発事業の展開
- 地域との連携、および協働事業の推進と展開
- 多様な広報媒体を活用した効果的なPR活動の実施

イ 収益事業の充実・拡大とコスト縮減

- 公園利用の促進に資する魅力的な収益事業の実施
- 組織運営および業務の見直し等によるコストの縮減の推進

ウ 利用者の安全・安心と防災・防犯の推進

- 施設・設備の確実な安全点検の実施
- 安全確保に資する利用者への注意喚起の推進
- 災害に備えた地域や関係機関との連携の強化
- プール事業における警備・監視体制の整備・構築と、スタッフへの救命講習の実施
- 防災用設備の機能を最大限発揮できる施設管理
- 防犯指針に従った公園管理の推進

(2) 経営指標

項 目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用者数	有料公園施設利用者数(千人)	7,150	7,250	7,380
	公益目的事業参加者数(千人)	1,520	1,535	1,550
収入※	利用料金・事業収益等 (百万円、消費税別)	2,180	2,235	2,273
地域連携	ボランティア活動延人数(千人)	15	16	17

※ 県委託料を除く

3 実施方策

(1) 利用者満足度の向上

《主な取組》

- 花と緑の充実した賑わいのある公園づくりなど計画的な緑化推進事業の推進
- 公園の特徴と魅力を活かしたイベントの実施
- 利用者ニーズの高い事業（バーベキュー場、魚釣り場、各種スポーツスクール等）の充実
- 快適な施設利用のために必要な施設整備の推進
- 園地管理の直営化による管理水準の向上
- 効果的な管理や魅力あるイベント実施を目的とした他団体との連携
- 「お客様第一」の精神で利用者に感動を与える接客研修の実施

(2) 多彩な公益目的事業の展開

《主な取組》

- ボランティアを中心とした草花の植栽や花壇の維持管理の実施
- 環境に対する関心を高めることを目的とした観察会やエコスタジアムなどリサイクル事業の実施
- 動物園や水族館での飼育や餌やり事業などの体験学習の実施
- 利用者層に応じた広報活動、宣伝活動の展開
- ホームページ（PC用、スマホ用）の充実及び時機を得たイベント情報の提供
- 生涯スポーツ（スポーツクラブ、サッカースクール、テニススクール、グラウンドゴルフ大会など）の普及、及び県民の健康づくり事業の推進
- 全国レベルのスポーツ大会誘致によるスポーツの振興
- イベントやスポーツなどを通じた地域への貢献
- ボランティア、NPO、大学、各種団体などとの連携・協働による魅力ある公園づくりの推進
- 子育て支援の一環としての託児サービスの実施
- 公園の特色を活かした管理・運営と事業の展開

(3) 収益事業の拡大

《主な取組》

- 公園の特性に合わせた売店商品の開発
- 看板広告事業のさらなる展開
- 利用者ニーズの高い事業（貸自転車、魚釣り場、貸用具、バーベキュー事業など）の拡充
- ケータリングカー（移動販売車）営業の拡充による収益の向上

(4) コストの縮減

《主な取組》

- 照明器具や空調設備の省エネ対策の推進によるエネルギーコストの縮減
- 電力契約の見直しや管理用消耗品の一括購入等を継続することによるコストの縮減
- 業務の見直しや効率化の推進によるコスト縮減
- 職員の時季的な配置換えや兼務発令、繁忙期や緊急時の応援体制の実施

(5) 防災・防犯の推進

《主な取組》

- 地域と一体となった防災訓練・防犯パトロールの実施及び警察などの関係機関との連携強化
- 公園ごとの危機管理マニュアルに沿った体制の整備と構築
- 災害時における非常時優先業務を定めた業務継続計画の遂行
- 防犯カメラの増設や状況に応じた警備の実施

(6) 利用者の安全・安心

《主な取組》

- 遊具等の公園施設、及び電気施設等のマニュアルに基づく点検の徹底
- 入れ墨のある人のプール入場禁止の継続実施
- プールスタッフの実務研修の強化と救命資格（CPR（心肺蘇生）・AED（除細動器））の取得
- 事故情報の共有化と安全総点検の実施
- 看板や園内放送などによる利用者への注意喚起
- 「個人情報マネジメントシステム」の適正な運用と更新
- 樹林地における下枝剪定による見通しの確保及び枯損木の伐採の実施

(7) 財務マネジメントの強化

《主な取組》

- 公益法人としての適切な財務管理及び指定管理者として健全な経営の維持

4 財務計画等

(1) 財務計画

(百万円 %)

科目	H28年度 (実績)	H29年度(予算)		H30年度		H31年度	
	金額	金額	H28対比	金額	H28対比	金額	H28対比
収入合計	4,617	4,636	100.4	4,691	101.6	4,729	102.4
公益目的事業収入	3,739	3,768	100.8	3,796	101.5	3,819	102.1
(内訳) 受託料	2,451	2,456	100.2	2,456	100.2	2,456	100.2
利用料金	1,112	1,146	103.1	1,162	104.5	1,182	106.3
事業収益等	176	166	94.3	178	101.1	181	102.8
収益事業収入	878	868	98.9	895	101.9	910	103.6
(内訳) 利用料金(駐車場)	212	217	102.4	220	101.4	223	105.2
事業収益等	666	651	97.7	675	101.4	687	103.2
法人会計収入	0	0	—	0	—	0	—
支出合計	4,407	4,789	108.7	4,789	108.7	4,789	108.7
公益目的事業支出	3,710	4,025	108.5	4,025	108.5	4,025	108.5
収益事業支出	649	714	110.0	714	110.0	714	110.0
法人会計支出	48	50	104.2	50	104.2	50	104.2
経常外増減	△ 216	0	—	0	—	0	—
当期一般正味財産増減額	△ 6	△ 153	—	△ 98	—	△ 60	—

※平成30年度以降については、管理する公園が未定のため、平成29年度と同じ公園を管理することを想定して積算した。

※新公益法人予算は、積立金など内部資金の充当分を含まないため、当期一般正味財産増減額はマイナス計上となる。

※金額の数字は全て消費税抜き。

(2) 財務実績

(百万円)

科目	H26年度	H27年度	H28年度
収入合計	4,336	4,584	4,617
公益目的事業収入	3,526	3,706	3,739
(内訳) 受託料	2,356	2,417	2,451
利用料金	1,008	1,131	1,112
事業収益	162	158	176
収益事業収入	810	878	878
(内訳) 利用料金(駐車場)	202	213	212
事業収益	608	665	666
法人会計収入	0	0	0
支出合計	4,350	4,620	4,407
公益目的事業支出	3,680	3,856	3,710
収益事業支出	626	712	649
法人会計支出	44	52	48
経常外増減	△ 31	△ 68	△ 216
当期一般正味財産増減額	△ 59	△ 104	△ 6

※平成26年度は、以下の15公園等の管理を行った。

1. 埼玉スタジアム2002公園
2. 熊谷スポーツ文化公園
3. こども動物自然公園
4. 上尾運動公園
5. 戸田公園
6. 秋ヶ瀬公園
7. しらこぼと公園
8. みさと公園
9. 吉川公園
10. 県民健康福祉村
11. 所沢航空記念公園
12. 川越公園
13. 羽生水郷公園
14. 加須はなさき公園
15. 智光山公園

※平成27年度から新たに大宮第二・第三公園の管理を行った。

※金額の数字は全て消費税抜き。